

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公表番号】特表2011-503968(P2011-503968A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-532055(P2010-532055)

【国際特許分類】

H 04 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月8日(2011.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チャネルの切り替え又はあるチャネルへの同調を実行する装置で使用する方法であって

、
H.264/AVC規格に従って符号化された複数のスケーラブルレイヤを含むスケーラブルビデオ符号化信号を受信するステップと、

他のスケーラブルレイヤよりも多くのランダムアクセスポイントを有する依存性のレイヤに対する復号化を設定するステップと、前記依存性のレイヤは、現在の復号化レイヤであり、

IDR (Instantaneous Decoder Refresh) スライスについて現在の復号化レイヤからのフレームをチェックするステップと、

前記現在の復号化レイヤにおけるIDRスライスの検出に応じて、前記現在の復号化レイヤにおける前記符号化されたビデオを復号化するステップと、

IDRスライスの他のスケーラブルレイヤからのフレームをチェックするステップと、

前記現在の復号化レイヤの値よりも大きいdependency_idの値をもつ依存性のレイヤにおけるIDRスライスの検出に応じて、前記現在の復号化レイヤの値よりも大きいdependency_idの値をもつ依存性のレイヤにおける符号化されたビデオを復号化するステップと、

を含む方法。

【請求項2】

前記多くのランダムアクセスポイントを有するスケーラブルレイヤは、前記スケーラブルビデオ符号化信号のベースレイヤである、

請求項1記載の方法。